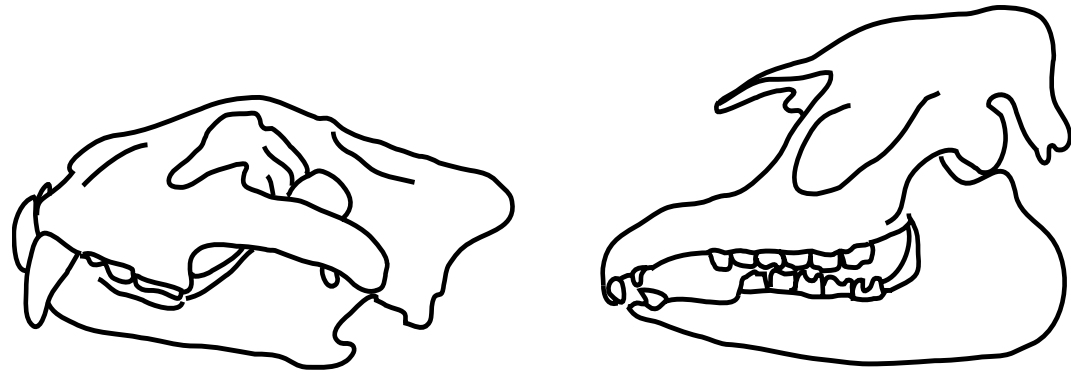


動物の骨を見てみよう！



2つの頭骨（とうこつ）はズーラシアにいる哺乳類のものです。

1．何の動物だろう？

（ ）

2．どこがちがうだろう？

（ ）

3．何を食べるだろう？

野生では？

（ ）

動物園では？

（ ）

4．野生ではどんなところにすんでいる？

（ ）

5．頭骨の上に顔を描いてみよう

チャレンジ問題

どんな足あとをしてるだろう？

--	--

中学校ワークシート教員用（解説シート）

中学2年2分野「動物の生活」とズーラシアにいる動物を関連づけた教材にしました。
動物の骨のつくりの違いをワークシートや写真などを使って学んでもらいます。

学習のポイント

- ・頭骨から、動物の歯のつくりや目の位置の違いを発見してもらう。
- ・それぞれの動物の食べ物、生息環境について学んでもらう。



A , アムールトラの頭骨



B , マレーバクの頭骨

写真はレプリカ

A , アムールトラ



生息地：ロシアと中国の国境を流れるアムール川流域から北朝鮮（亜寒帯の森）

生息環境：落葉樹や針葉樹の混在した低木の森林

食性：イノシシ、ノロジカ、ヘラジカ、ジャコウジカなど

動物園でのエサ：馬肉、鶏頭、牛レバー、ヒヨコなど

現存する 5 亜種の中で最も体が大きく、最も北に分布しています。落葉樹や針葉樹の混在した低木の森林に単独ですみ、夏毛はベンガルトラに似ていますが、冬毛は綿のようで体色が淡く鮮やかなのが特徴です。保護活動にもかかわらず密猟によって生存が脅かされており、絶滅が心配されています。

現在野生下では、400 頭前後しかいないといわれています。

肉食動物の特徴

歯：肉を引き裂きやすいように鋭い犬歯が発達しています。これは獲物を捕まえるとき重要な武器になります。

目：獲物がどこに行くのか遠近感を計るため、目が正面についています。

足：足の裏に肉球があり音を立てずに獲物に近寄っていきます。また、ネコ科の動物は爪を出し入れすることができ（チーターを除く）鋭い爪出して獲物を捕らえます。

B , マレーバク



バクの前足



バクの後ろ足

生息地：ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島（アジアの熱帯林）

生息環境：熱帯雨林。赤道近くで年間を通して気温が高く、降雨量も多い地域

食性：草 木の葉 果実 水草など

動物園での食事：木の葉、乾草、果物など

現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことと知られています。他のバクと違って、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴です。熱帯雨林の森の中で単独で生活していて、木の葉や草などを餌としています。水辺を好み、泳ぎも巧みです。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されています。

特徴的な鼻はゾウと同じように上唇と鼻が一緒になって伸びたもので、エサをたぐりよせたり、水中に潜った時に息をするために使われます。

草食動物の特徴

歯：繊維質の草や木の葉を食べるため、洗濯板のような臼歯が発達しています。

バクは原始的な奇蹄目で、進化したウマなどに比べると歯の高さが低く、かみ合わせ面も複雑ではありません。

目：左右の横についており、広い範囲を見渡すことができます。

マレーバクの視力はあまり良くありません。

足：バクはウマやサイなどと同じ奇蹄目に属しています。奇蹄目は蹄の数が奇数の動物で、バクは前足の指が 4 本、後足が 3 本になります。バクは硬い蹄は持っていませんが、ウマや偶蹄目などは肉食動物から逃げるのに適した硬い蹄を持っています

発展学習

ズーラシアでは動物たちが野生でくらしている環境を再現した展示方法「生息環境展示」を行っています。実際にズーラシアに来て動物たちがどのような環境で生活しているのか見てみましょう。

より良い教育を実現するツールのひとつとして、ズーラシートを通し、様々な動物学習の手がかりを提供していきたいと考えています。動物園をより有効に活用していただくために、単に動物のことを学ぶだけでなく、動物観察を通し、子供たちが様々な角度からものを考えるようにと工夫していきます。このズーラシートの活用事例、改善点など、どんなことでもお聞かせ下さい。私たちは先生方とともに教育を考え、そして子供たちと一緒に環境のことを考えていきたいと思えます。

ご意見の宛先・お問い合わせ先 横浜市立よこはま動物園 動物課 教育普及担当
〒241-0001 横浜市旭区紙白根町 1175-1 電話 045-959-1000
市ポストもご利用いただけます。